



●今月のオススメ映画

『ゆるる』

監督・脚本 西川美和  
出演 香川照之、オダギリジョー、真木よう子  
公開期間 10月22日～10月28日

4年前、シネマ尾道再興活動の一環で行っていた自主上映会で「ゆるる」を上映したことを思い出す。山本モナさんをMCに迎え、広島出身の監督・西川美和さん、音楽担当のカリフラワーズさんをお招きしトークイベントを行った。上映中会場入りした西川美和さん。その美しさたるや驚きました。出演の真木よう子さんは初対面、思わず嫉妬したそうです。

生き方も性格も違う兄と弟。ある日弟の帰郷をきっかけに一人の女性を巡る三角関係が勃発します。兄弟、親子。愛し合いながらもどこかコンプレックスを持っていたり憎んでいたり。普段は表に出せないそんな潜在的な感情、愛と憎しみの恐ろしさ。西川美和さんに、心を抉られました。

この度、尾道出身の漫画家・かわぐちかいじさんセレクト映画特集の1本で、再び上映させていただく事になりました。この機会にぜひ。

尾道経済活性化委員会 河本 清順



©2006『ゆるる』製作委員会

会場・お問合わせ シネマ尾道  
住所 尾道市東御所町6-2  
TEL 0848-24-8222  
HP http://www.cinema-onomichi.cc

●シネマ尾道上映スケジュール

10/15(土)～10/21(金)	10/22(土)～10/28(金)	10/29(土)～11/4(金)
愛する人 12:05～/18:30～	愛する人 16:00～	一枚のハガキ 9:40～/11:50～/18:
森崎書店の日々 10:00～/16:25～	森崎書店の日々 11:55～	あぜ道のダンディ 14:
再会の食卓 14:30～	アリスクリードの失踪 14:00～	アリスクリードの失踪 20:
劇場版神聖かまってちゃんロックンロールは鳴り止まないっ 20:50～	ゆるる (かわぐちかいじさんセレクト映画) 9:40～/18:30～	ハート・ロッカー (かわぐちかいじさんセレクト映画) 16:

9月例会行事

「震災から半年、なぜ進まない震災復興」



9月10日(土)、尾道国際ホテルにおいて、参議院議員佐藤公治先生をお招きし「震災から半年、なぜ進まない震災復興」のテーマで、1時間30分にわたりご講演いただきました。佐藤先生には、本来3月12日に予定されていた3月例会において、ご講演いただく予定でしたが、東日本大震災のため予定を変更し、この9月例会でご講演いただきました。

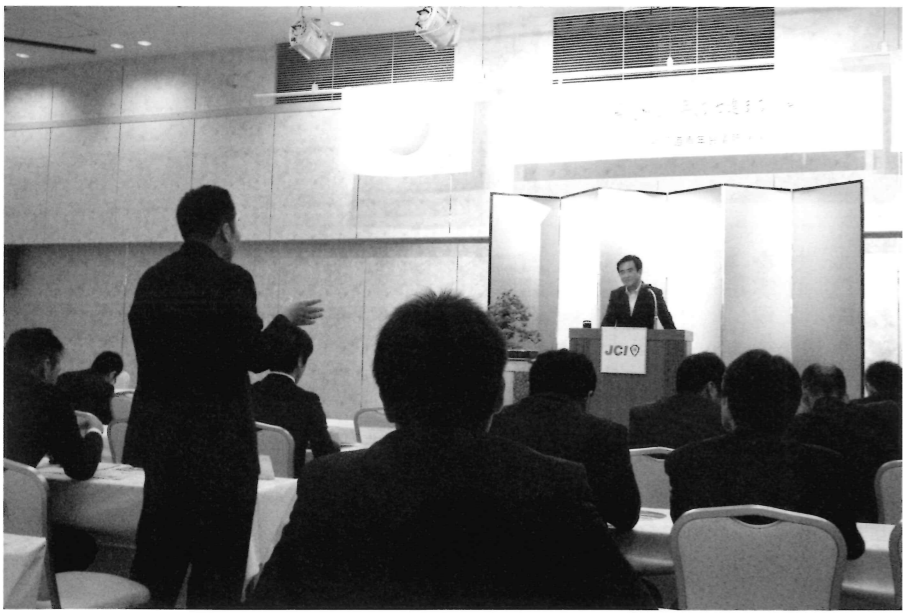
講演では、佐藤先生に震災復興のビジョン、原子力の問題や実際の政治の世界について



大変興味深いご講演をいただきました。

佐藤先生のお話になる原子力発電の問題を含む震災復興のビジョンは、私たちが普段耳にするマスコミの報道とは一味違うもので興味深いものでした。マスコミ報道は、ある方法もあるこの方法もあるといういろいろなことが報道されますが、これというビジョンを示すものではありません。

東日本大震災以降、強いリー



ダーシップが今までよりも求められていますが、相対的な報道では国民を感わず危険があるのも事実だと思えます。

しかし、佐藤先生は、国会議員という立場もあってか、その発言にはひとつの方向性がある上に強い責任感を感じることができました。

感じることなく、政治の重要性を大変分りやすく講演していただいたのではないのでしょうか。



9月27日、2012年度正副理事長、事務局予定者で市長を訪問いたしました。

その際、来年の海フェスタの事、近年のしまなみ海道を渡るサイクリング客、観光客の増加の事、空き家プロジェクトに対する事などについて話しました。そして、尾道青年会議所と尾道市とが一緒に沢山の事業をやるためには、次年度に向けて尾道青年会議所がどのような事業をしたいのか、早めに提案してほしいとの事でした。また、青年会議所の若い考えで、いろんな面白い事業を提案してみてほしいとの事でした。

10月に入りようやく涼しく過ごしやすい気候になりました。ただ季節の変わり目で体調を崩される方も多くみられますので皆様お気を付け下さい。

10月5日、アップル社の創業者で会長のステイブ・ジョブズ氏がお亡くなりになりました。ジョブズ氏は1976年にアップルコンピュータを創業以来、コンピュータの発展、業績悪化に伴う追放、そしてCEOとして復帰を経てアップル社を時価総額で世界最大の企業まで押し上げました。その要因は業界のビジネスモデルの革新を常に主導してきたからだと思えます。

ジョブズ氏のスピーチとして有名なのが2005年のスタンフォード大学卒業式でのスピーチです。この中で大きく三つの重要なメッセージを述べています。ひとつは、過去を振り返って自らの点と点をつなげること。次に、信念を失わないこと。そして三つ目に、毎日人生最後の日だと思つて生きる。これらのメッセージはジョブズ氏らしさが現れていると思えます。

なかでも私が最も感銘を受けたのは、一つ目の点と点をつなげること、歩む道のどこかで点と点がつながると信じて自信を持って生きる事です。ジョブズ氏はメッセージの中で具体的に自らの経験をその後の成功に活かした例を述べています。私もJCI活動においてこれまでにない様々な経験をさせていただいています。これらの点を何かにつなげていきたいと思えますし、こうした意識をしっかりと持ちながら今後も活動していきたいと思えます。

カリスマ経営者・ジョブズ氏のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表します。

セクレタリー 安楽城 大作

9月2日(金) ベイタウン尾道にて9月合同委員会にて「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラムを受講させていただきました。

尾道JICからは安部委員、榎原委員、また全国のL.O.Mより日本JIC次世代社会創造グループ徳溢れる心醸成会議に出向されている皆様は現在、全国を巡業中であり、今回、その第37ヶ所目としてこの尾道にいらつしやいました。プログラムのテーマは「徳溢れる心醸成プロジェクト」家訓づくりプログラムとのことでしたが、家訓というものを現在家庭内に定めているというメンバーの方々は、いませんでした。

そもそも、先ず家というものは、家庭世帯等に置き換える事もでき、先祖から代々引き継がれた血縁、伝統的な財産、価値観、皆が同じ方向を向ける場所、という様々な要素を共有し、またそれらで結ばれているということを学びました。



私たちは現代競争社会という背景のもと、思いやりのない人や自分だけがよければそれで良いなどといった自己中心的な人たちの話を良く聞きます。しかし、子供たちに「理想



の食卓」というテーマで、皆に絵を描いてもらおうと、7割の子供たちがその食卓の中に父親の姿を描いていなかったという事を聞きました。こういった、モラルの低下、協調性の欠如自体の多くが、家庭環境に起因するということだと思えました。

つまり家訓とは子供の活動を変えるための必要な指針だという事、定めた以上は自ら実践し、自ら示すという責任も背負わなければなりません。それは父親としての威厳を保つため、そして心の軸がぶれないためにも必要な事という事でした。子供という時間が少ないという方は多いと思います。親として、代々受け継がれてきた事を家訓という言葉を通して伝えて行く事に少し使命感を感じました。

今回の講義は、尾道JICメンバーにとつても日本JICの活動に触れる良い機会であり、大変有意義な時間だったと思います。最後になりましたが、日本JIC徳溢れる心醸成会議の皆さん、台風接近という大変お足下の悪い中、お越しいただき、本当にありがとうございました。

## 「リアル熟議in日本人の教育推進会議」 テーマ「今、子どもたちに学んでほしいこと」 ～学校・家庭・地域の協働による教育づくり～

このリアル熟議in日本人の教育推進会議を開催致しました。当事業は、日本JIC徳溢れる心醸成会議が全国に進めているプログラムであり、尾道JICは共同開催させて頂きました。



当日は山口大学の長畑教授を講師としてお招きし、榎本先輩、手塚理事長をはじめとする4名の方に学校、地域、企業、親を代表してお話しして頂きました。

当日は山口大学の長畑教授を講師としてお招きし、榎本先輩、手塚理事長をはじめとする4名の方に学校、地域、企業、親を代表してお話しして頂きました。

当日は山口大学の長畑教授を講師としてお招きし、榎本先輩、手塚理事長をはじめとする4名の方に学校、地域、企業、親を代表してお話しして頂きました。

当日は山口大学の長畑教授を講師としてお招きし、榎本先輩、手塚理事長をはじめとする4名の方に学校、地域、企業、親を代表してお話しして頂きました。

# 第41回広島ブロック会員大会

9月18日、府中市文化センターにて第41回広島ブロック会員大会が開催されました。

大会式典はまず国府こども太鼓によるオープニングアクトが行われ、監査担当役員である鍛冶川立章君の開会宣言により始まりました。各地L.O.M紹介では今年尾道青年会議所が取り組んできた様々な事業が紹介され、今年の



スローガンである「若い力」を唱和させていただきました。

そして今大会では2012年度の広島ブロック会長予定者として尾道青年会議所の手塚淳三君が指名承認されたことが発表されました。また2012年度の会員大会が竹原で開催されることも発表され、次年度に向けた新たなスタートが広島ブロックにおいても切られました。



大会メインフォーラムでは「心をもつて働ける経営」と題して元リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー日本支社長で人とホスピタリティ研究所代表の高野登先生によるご講演をいただきました。サービスとホスピタリティの違いから経営にとつて「心配り」の大切さを見つめなおさせてくれる講演でした。その後広島ブロックOB大会でも2012年度の手塚ブロック会長予定



者が紹介され、大懇親会ではL.O.Mの卒業生が登壇され、尾道青年会議所からも岸上幸由君より現役メンバーに向けてメ

ッセージをいただきました。この度の会員大会は尾道青年会議所にとつて意義深い大会であったように思います。次年度に向けて広島ブロックを支えていくための心構えをより新たにできたのではないかと感じます。



## PEACE おのみち 委員会紹介

我々の委員会では11月刊行予定の「くるり・おのみち」の冊子作りに全力をあげております。この冊子は埋もれた尾道の歴史・文化を再発見、再認識する試みとしています。冊子はガイドブックの体裁をとっておりますが、一般的なガイドブックとは異なり、尾道人でも知り得なかった情報や知られたスポットであっても違った角度からクローズアップするなど、尾道の「深見」に迫る内容となっております。また、尾道の文化を保存・発信している若者たちの取組にもふれています。

冊子の刊行を記念して11月13日に同名の尾道散策イベントも開催いたします。皆様のふるつての参加をお待ちしております。

委員長 片岡彰一郎  
副委員長 中浜 聖登

